

# 回 覧

人権啓発情報誌

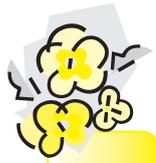
No. 146 号



標語：「やさしさが始まる一日 たからもの」

栃木市 大平隣保館

令和4年3月発行 栃木市大平町新1305-3 TEL 0282-43-6611



## 人権作文

## 「自分らしさ」

大平南小学校

六年

赤岩 あかいわ 奈那香 ななか

ある日の夕方、私は放課後友達と遊んで家に帰る途中、義足の人を見かけました。その人は義足を付けていない人と同じくらいの速さで歩いて行きました。私は義足では、ゆっくり歩くことしかできないと思っていたので、少しおどろきました。家に帰ってから私は、早速義足についてインターネットで調べてみることにしました。調べてみると、速く歩けるどころか、走ることもできるし、義足は付ける人の目的に合わせて作ってくれるため、様々な仕事に就けることが分かりました。そしてそこには義足を付ける

前の人たちの思いも書かれていました。病気や事故により自分の足を失い、悲しく辛い思いをし、絶望的な気持ちになったという記事でした。その理由は今までと同じように歩けなくなり、それまでと同じ生活ができなくなってしまった他、周りの人から冷たい目で見られるようになったということでした。そこで私は疑問をもちました。なぜ義足の人から周りの人から冷たい目で見られるのか、ということでした。その一番の理由は、みんなと見た目がちがうことだと思いました。私のおじいちゃんも最近補聴器を付けるようになりました。でも以前は補聴器を付けたくないと言っていました。どうやら、付けていると、かっこ悪いし周りの人から変な目で見られるのではないかなと思っていました。けれども実際に付けてみると、思っていたより小さく、デザインもカラフルで、何より周りの音がよく聞こえるという便利さが分かり、今では周りの目もすっかり気にならなくなっ

たと言っていました。このことから人は見た目のちがいで差別されるだけではなく、自分と他人がちがうことが、いけないことだと思っ

私のかみの毛は、くせが強くて小さいころは、よくからかわれたことがありました。だからそのころは、くせは良くないことだと思っ

を切ってくれている美容師さんに、「かみのくせを気にするのは日本人だけで、外国のモデルさんたちは、くせが強い人がほとんどなんだよ。だから無理にまっすぐにする必要はないんだよ。」と言われました。私はその言葉を聞いて、自信がでてきました。みんなとちがっているのが、はずかしいと勝手に思い込んでいたのは私だったとそこで初めて気付きました。私のかみは個性なのだと思います。

このような経験から私は、見た目のちがいは個性なのだと分かりました。でも今のこの世の中は、人たちがうということとで差別する人が



います。私はそれが無くなっていったら良いなと思っています。私も人それぞれ個性を受け入れていきたいです。そして人とのちがいで悩んでいる人がいたら、それは個性なんだと教え励ましてあげたいです。

### 「世界が変わる魔法の言葉」

大平西小学校 六年

おばた はるき  
小幡 陽生

「ありがとう。」

僕は、この言葉がとても大好きです。言われていやな気持ちになる人がいるでしょうか。この言葉一つで、人と人が争う事やだれかをきずけたりいやになったりする事、この世界のどこかでだれかが悲しみのなみだを流す事さえなくせるのではないかと思っています。なぜなら、言った人も言われた人も、必ずうれしい気持ちになれる魔法の言葉だからです。

僕は五年生の時、結まく炎になり、母と一緒に近くの眼科に行きました。席に座り、呼ばれるのを待っている、後から一人のおばあさんが入ってきました。見ると、こしが曲がっていて、つえをついておられます。待合室はとても混み合っていて、

他に座れる所はありません。それが分かった僕は、自分がどうするべきか、あのおばあさんは、どうしてもえたらうれしいか、答えが分かりました。話しかけるだけです。

しかし、僕にはその勇気が出ません。良い事をしようとしているのに、足がふるえて筋肉が固まり、うまく言葉が出せません。まるで、金しばりにでもあったかのように、声も足も出ないのです。

何も出来ずに帰った僕は、あのおばあさんの事はかり気になっていました。立っているの、つらくなかったらうか。無事におうちに帰れたたらうか。気になって、その日はあまり夕飯が食べられませんでした。

数日後、再びその眼科に行った僕の目に、またあのおばあさんが映りました。今日も眼科はとても混み合っていて、他に座れる所はありません。

「言わなきゃー！」  
そう思った僕の頭より先に、口が動いていました。この前の事がうそのように。





「おばあちゃん、席どうぞー！」  
 いっしょゆん、待合室が静まり返りま  
 した。声も少しひっくり返った感じ  
 であわてて言ったのがバレバレで  
 す。自分のほったたと耳が熱くなっ  
 ていくのが分かりました。今すぐこ  
 こから消えてしまいたい！そう思っ  
 た僕におばあさんはニッコリ笑っ  
 てくれました。

「ありがとうございます。」

その時のおばあさんのとても優し  
 く温かい笑顔を見て、僕はうれしく  
 てたまりませんでした。席に座れた  
 おばあさん。喜んでくれた表情が見  
 られた僕。どちらもうれしくなるの  
 がこの言葉だと、僕は改めて気付  
 きました。

もし、世界中の人がいつも感謝の  
 気持ちで相手と接する事ができ  
 たら。

「席をゆずってくれてありがとう。」  
 「重い荷物を持ってくれてありがとう。」

「そばにいてくれてありがとう。」  
 世界からは争いの代わりに、笑顔が  
 生まれると僕は本気で思います。眼

科で出会ったおばあさんがくれたこ  
 の魔法の言葉を、一生大切にしてい  
 きたいです。



## 『こころのまど』 発刊のご案内

大平地域内の小・中学校の児童・生徒の皆さんの人権作文・標語・書道を

まとめた人権作品集『こころのまど』を発刊しました。

多くの方が『こころのまど』の作品に触れることにより、人権の問題や人に

対する思いやりの心を改めて考えていただけたら、幸いに思います。

希望する方は、どうぞお気軽に大平隣保館事務室までお声かけください。





# 新春書初め会を開催しました

新年を迎えた1月8日（土）大平隣保館において、幼稚園の年中さんから小学6年生までの児童等が、大平隣保館自主書道の石原先生と教室の皆さんの指導の下、真剣にそして楽しく書初めをしました。

学年ごとに用意された人権にちなんだ課題を床に紙を広げ、筆を走らせました。

仕上がった作品は2月いっぱい隣保館に展示しました。



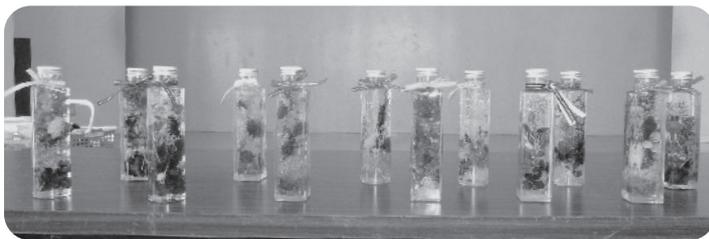
真剣に取り組みました



上手に書けました



楽しく真剣に作っています



どれも力作です

11・12月にとちぎ花センターから講師を迎え、スワッグやハーバリウムづくりを行いました。  
どちらの講座も参加者全員が、たいへん真剣に取り組み、お気に入りのものができあがりました。参加者に大変満足していただきました。

◎「草花をアレンジしよう」短期講座  
を開講しました。





◎「HAPPY生き生き塾」館外研修

12月、2日に分かれて行きました。

足利学校ではガイドさんの説明に真剣に聞き入り、積極的に質問するなど、教養と交流を深めることができました。

初めて訪れた方がほとんどだった、歌人・柿本人麻呂がまつられている佐野市の人丸神社で写真を撮りました。



◎集会所学習発表会およびりんぱかんまつりについて

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年2月〜3月開催している大平地域・岩舟地域集会所学習発表会と「りんぱかんまつり」を、令和三年度も中止とさせていただきます。

集会所の各教室受講者や、まつりを楽しみにしていた方から「今回も残念」との声も聞かれました。

来年度については、以前の内容の変更や規模の縮小なども検討しながら、今後の新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえて、開催に向けて判断していきたいと考えています。

『こだま』担当から③

コロナ禍の間隙を縫って、「参加型人権楽習」の講師を務めました。

12月は佐野市田沼町の隣保館に招かれ、集会所のシルバーふれあい教室で講談を行ってきました。好評だったこのことで、佐野市の他の隣保館からも講師を依頼されました。

1月は、寺尾公民館で地区寿クラブ教育研修に市職員出前講座として講談を行いました。ありがたいことに、「笑いありで楽しかった、学んだことを家族にも試したい」などの感想をいただきました。

令和四年度の出前講座にも、引き続きメニュー登録報告をしました。「人権」は行政・社会の根幹であると考えていますので、今後も、ライフワークとして人権行政に取り組んでいきたいです。

(人権・男女共同参画課  
大平隣保館係 川田 照寿)





11月25日に大平南中学校、29日に都賀中学校、12月13日に寺尾中学校の体育館を会場に、公益財団法人東日本盲導犬協会による盲導犬体験学習が、中学生を対象に行われました。

◎ 『盲導犬体験学習』

〔人権啓発活動〕

12月4日～10日の人権週間に合わせて、いろいろな啓発活動が行われましたので、一部を紹介します。

最初に盲導犬の訓練士の方から盲導犬利用者と盲導犬についてのお話を聴き、その後アイマスクを付け、盲導犬の誘導に従いながら、障がい物を避けて決まったコースを歩行する体験学習をしました。この体験を通して、目が見えないことがどれほど不安なのかを身を持って感じ、視覚障がい者のパートナーとしての盲導犬の重要性を実感することができたようです。

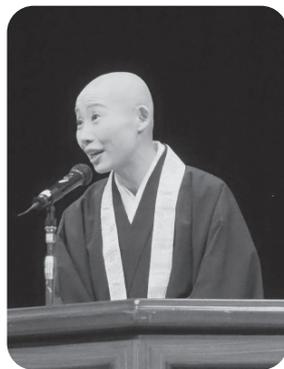
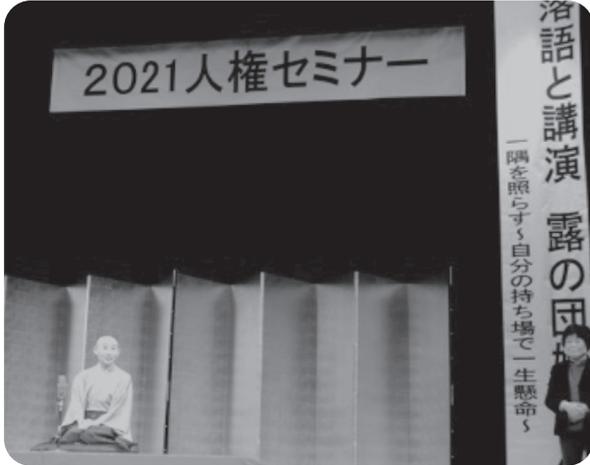
◎ 人権擁護委員による 『お話会（人形劇）』

人権擁護委員の方々による「お話会」が、11月10日にしずわでら幼稚園、11日に大平西保育園、12月10日にひかり保育園、16日におみや幼児教育センター、1月11日に都賀よつば保育園にて行われました。



人形劇をみている園児たち





◎『人権セミナー』を開催しました

新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期されていた部落解放同盟栃木市協議会主催の「人権セミナー」が令和4年1月15日（土）、大平文化会館において開催されました。

今年は僧侶で落語家の露の団 姫（つゆのまるこ）氏を講師にお招きし、「楽しい落語と「一隅を照らす」自分の持ち場で一生懸命」と題する講演をお願いしました。笑いの中にも自分の生き方を見つめ直すきっかけを示唆していただき、有意義な時間となりました。

パートナーシップ宣誓制度

栃木市では、令和2年11月1日からLGBTQ（性的少数者）の方の自分たちの存在を公に認めてほしいとする気持ちを受けとめ、2人が人生のパートナーであることを栃木市長に対し宣誓し、証明書を交付する制度として、「栃木市パートナーシップ宣誓制度」を始めました。現在2組の証明書を発行しています。

県内では、鹿沼市、日光市も導入しています。全国的では、令和4年1月1日時点で、146自治体が導入し、2,537組がこの制度を利用して、この制度を導入する自治体は今後も増えていくと思われます。

2人が互いに人生のパートナーとして、安心して栃木市で共同生活ができるよう、行政がその関係を尊重することはもちろん、多くの方にLGBTQ（性的少数者）の方たちの悩みや生きづらさを理解していただき、制度へのご協力・支援をお願いします。

多様な生き方を認めあい、だれもが自分らしく生きるためのポジティブな環境づくりを目指しましょう。





## 令和4年度 栃木市大平地域集会所学習計画

栃木市大平地域集会所では、「出あい・ふれあい・学びあい」をテーマに、さまざまな人権問題について理解と認識を深め、明るいまちづくりを目指し各種教室を開設しております。

教室名	集会所	開設日	時間	教室の初日
はつらつ教室 (女性・高齢者教室)	榎本	第1火・第3木	午前9時30分～11時30分	5月10日(火)
女性教室	伯仲	第2月曜	午後2時～4時	5月16日(月)
	真弓	第2金曜	午前9時30分～11時30分	5月13日(金)
	西水代	第4火曜		5月24日(火)
	富田	第1火曜	午後2時～4時	5月10日(火)
料理教室	榎本	第2火曜	午前10時～12時	5月17日(火)
	伯仲	第1木曜	午前9時30分～11時30分	5月12日(木)
	真弓	第1月曜		5月2日(月)
	西水代	第1火曜		5月10日(火)
	富田	第3火曜	午前10時～12時	5月24日(火)
高齢者教室	真弓	第1・3金曜	午前9時30分～11時30分	5月6日(金)
	西水代	第2・4水曜		5月11日(水)
	富田	第2・4月曜		5月9日(月)
ダンス教室	伯仲	第2・4水曜	午後8時～10時	5月11日(水)
	真弓	第2・4月曜	午後7時30分～9時30分	5月9日(月)
	西水代	第1・3木曜	午後1時～3時	5月12日(木)
	富田	第1・3金曜	午後7時～9時	5月6日(金)
カラオケ教室	榎本	第2・4水曜	午後1時30分～3時30分	5月11日(水)
	伯仲	第2・4土曜	午後2時～4時	5月14日(土)
	真弓	第2・4木曜	午後1時30分～3時30分	5月12日(木)
	西水代	第1・3土曜	午後2時～4時	5月7日(土)
	富田	第2・4土曜	午後2時～4時	5月14日(土)
民謡教室	富田	第2・4火曜	午後1時30分～3時30分	5月10日(火)

大平各集会所では教室の受講者を募集しております。  
受講希望の方は、大平隣保館（43-6611）までご連絡ください。

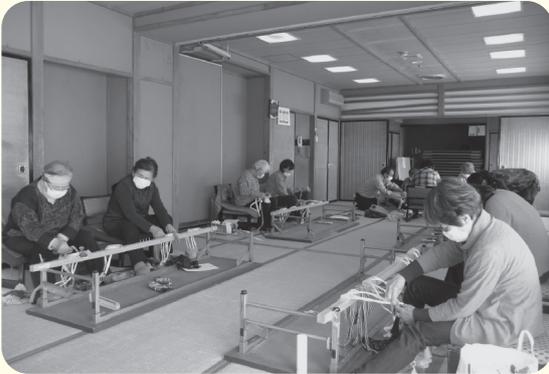




# 厚生センターからの活動報告

## 布ぞうり作り講座

11月24日(水)、25日(木)、厚生センターにおいて布ぞうり作り講座を開催しました。古布を再利用することで環境にも優しく、手先を使って編むことで脳の活性化を図ることもできるぞうり作り。参加者は持ち寄った古布を熱心に編み込みました。思い入れのある布を持ってきた方や数種類の布を組み合わせた方など、世界に一つしかない自分だけの布ぞうりが出来上がりました。



## 読み聞かせ学習会



12月14日(火)、15日(水)、17日(金)、読み聞かせ学習会を実施しました。読み聞かせボランティア「九輪草の会」の皆様の指導の下、子どもの情操教育や脳の発達にも良いといわれる「読み聞かせ」を熱心に学びました。

3日目はミニ発表会にて、この連続講座で学んだことを披露しました。

自分の子や孫に読み聞かせをしたい、現在やっているボランティア活動に役立てたい、脳の運動になるので

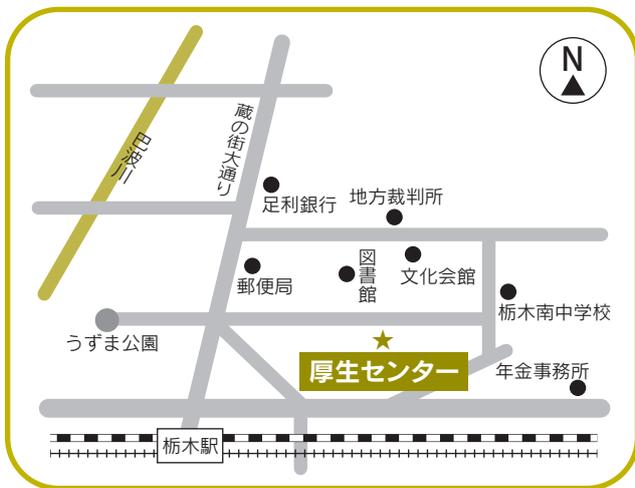
は、と参加者の学習会参加の目的はそれぞれ違いますが、皆さん楽しく過ごせたようで、終了後も参加者同士交流をされていました。またの参加を心よりお待ちしております。





### 冬の交流事業

12月25日(土)、毎年恒例の小学生を対象にした冬の交流事業を開催しました。クリスマス当日ということもあり、エレクトーン演奏会では「ジングルベル」や「赤鼻のトナカイ」を曲に合わせて歌いました。他にも、やさしい人権のお話や読み聞かせボランティアによる『島ひきおに』の読み聞かせを行いました。部落解放同盟栃木市協議会の皆さんによるビンゴ大会では、たくさんのお友だちが大いに盛り上がりました。帰りには協議会の皆さんからお土産をもらい、楽しいクリスマスのひと時をを過ごしました。



厚生センター 栃木市旭町9-7 ☎0282 (24) 2444





### 隣保館相談事業

大平隣保館では、市民を対象に日常生活における様々な困りごとに関する相談を常時受け付けしております。

どこに相談したらよいのかわからない場合でも、お気軽にご相談ください。隣保館で対応するほか、ご相談内容に適した機関等をご紹介します。

### 法律相談

2か月に1回、日常生活における法律全般に関する困りごと等について、弁護士の方が相談に応じます。

今後の相談日は次のとおりです。相談は予約制ですので、希望される方は事前に大平隣保館へご連絡ください。

◎相談日時 令和4年5月19日(木)

7月21日(木)

午前10時～正午まで

※相談時間は20分です。

### 日本語講座

大平隣保館では、外国人を対象とした日本語講座を開講しています。特に予約は必要ありません。料金は無料です。

ぜひご利用ください。

### ◎講座開催日・時間

原則第1・2土曜日  
午後8時～10時まで

※夜間入口は通常開館時の入口と異なりますので、新規の方は事前に隣保館まで、お問い合わせください。



表紙絵 絵手紙作家 根本晴夫さん  
標語 大平東小学校5年 富山京士朗さん

## 生活相談や困りごとは大平隣保館へ

電話でのご相談はフリーダイヤルで

よろしく なやみなし

# 0120-46-7830

(平日午前8:30から  
午後5:00まで)

